

(2) まちづくり団体の現況

近年、本市では、さまざまなボランティア団体や市民活動団体、NPO*法人（平成20年10月末現在13団体）、自治会、地域コミュニティなどの「まちづくり団体」による自主的かつ主体的な取り組みが活発になっており、その数は三条市が把握しているだけでも140団体以上にのぼります。こうした活動は、これからの地域社会を支える重要な基盤と言えます。

これら団体の活動に対して、三条市では「まちづくりサポート交付金*」の制度があり、各団体の申請により交付金が交付されています。

○まちづくりサポート交付金交付団体

団体の種類

種 類	平成18年度 団体数	平成19年度 団体数	平成20年度 団体数（見込）
自治会	10	19	17
防犯組合・防災組織・衛生組合	5	7	4
PTA・育成会・子ども会	6	5	7
市民活動団体	20	33	27
その他	13	21	23
合 計	54	85	78

団体の活動の主な分野

活動分野	平成18年度 団体数	平成19年度 団体数	平成20年度 団体数（見込）
安心・安全（防犯・防災・交通）	13	23	17
福祉・保健	8	11	5
環境保全・環境美化・緑化の推進	13	13	11
子どもの健全育成	3	6	9
文化・スポーツ・生涯学習	4	7	10
まつり・交流・イベント	11	25	26
その他	2	—	—
合 計	54	85	78

資料：市地域経営課 各年度3月31日現在

* NPO…Non Profit Organization の略。広義では非営利団体のこと。狭義では非営利で社会貢献活動や慈善活動を行う市民団体のことをいう。

* まちづくりサポート交付金…地域の資源、人材を活かした豊かで活力のある地域社会の実現と、市民と行政との協働のまちづくりを推進するために、さまざまな「まちづくり団体」が取り組む活動を支援する交付金制度。

8 地区別住民懇談会

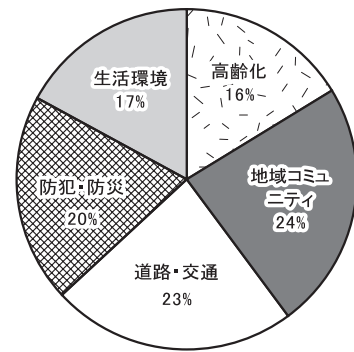
(1) 懇談会の概要

本計画の策定にあたり、住んでいる地域の現状を理解し、今後どうあるべきか、そのために何が出来るのかを、住民自らで共有し、その中から生まれた声を計画に反映させるために、市と連携し市内13地区において地区別住民懇談会を開催しました。

(2) 地域別の現況

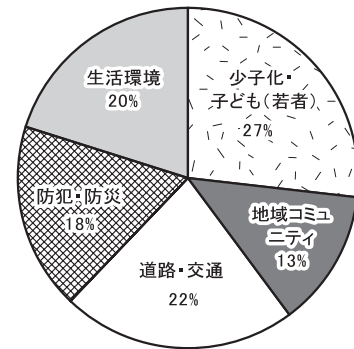
三条地区の現況（今、地域で困っていること・気になるところ）

三条地区においては、地域のつながりや交流が希薄なこと、市街地の交通量が多すぎること、また、不審者や水害に対する不安などの割合が高くなっています。



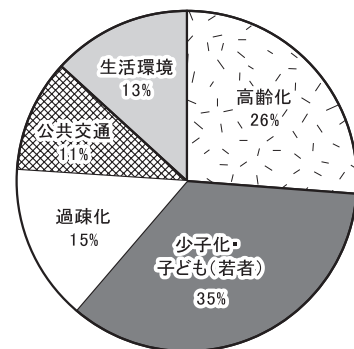
栄地区の現況（今、地域で困っていること・気になるところ）

栄地区においては、子どもや若者が少ないこと（後継者不足）、道路の整備が不十分なこと、また、ゴミの問題や水害に対する不安などの割合が高くなっています。



下田地区の現況（今、地域で困っていること・気になるところ）

下田地区においては、子どもや若者が少ないこと（未婚・晩婚）、一人暮らし高齢者が増加していること、また、地域全体の過疎化への不安などの割合が高くなっています。



懇談会の詳細については、【資料編】に掲載しています。

第3章 計画の理念と目標

1 計画の基本理念・基本目標

本計画では、三条市が目指す地域福祉の方向性を踏まえ、次の基本理念を掲げます。

基本理念

だれもが安心して 健やかに暮らせる まちづくり

この基本理念を踏まえて、次の3つの基本目標を掲げます。

基本目標1 安心できる福祉サービスの提供

基本目標2 健康で生きがいのある暮らしの実現

基本目標3 住民参加で共に支え合う地域づくり

この基本目標を基に、三条市が目指す「ユニバーサルデザイン※」の考え方が実現できるように、地域住民の積極的な参加により、共に支え合いながら、安心して住みなれた地域で暮らすことのできる取り組みや、仕組みづくりを目指します。

具体的な内容は、「第4章」に記載します。

※ ユニバーサルデザイン…年齢や性別、障がいのあるなしにかかわらず、最初からバリアのない、誰にとっても快適な環境をつくろうという考え方。